

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370401461
事業所名	グループホーム えがお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板のやり取りや地域の清掃活動や祭りに参加している。専門学校の実習受け入れ、定期的な大正琴や傾聴ボランティアの訪問がある。近隣の散歩やコンビニ、喫茶店では馴染みの関係が築かれ地域の一人となっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は地域包括支援センター職員、家族、利用者、訪問マッサージ師、薬剤師等の参加を得て2か月ごとに開催している。会議ではホームの運営状況や、日常生活について報告し、包括との地域に関する情報交換、薬剤師や消防士による研修の機会が持たれている。災害対策については、地域避難場所や災害時の食料問題等の意見交換があり、地域との共同関係を深めた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区役所介護担当とは、介護更新時に直接会う機会があるが、何かあれば電話して相談できる関係性を築いている。生活保護課担当者と定期的なやり取りがあり、利用者と直接面会して生活状況を報告している。区主催の研修会の参加をしている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 2か月に1回、えがお便りを発行し、日頃の様子や運営状況を伝えている。家族会を発足し、主には推進会議で顔を合わせてたり、クリスマス会のイベント時に交流を図っている。意見箱を設置しているが、面会時や会議、電話等で要望を聞き、支援に反映している。	評価 ○
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価			×	○	○	○	×	○	○	○	